

# 学研労協 NEWS ニュース

## サイエンスカフェ「つくろう！科学の輪 第4回」(11/3)を開催しました 「これからのエネルギー、選ぶのはあなたです」

講師：歌川 学さん(産総研)

今回は、産業技術総合研究所エネルギー技術部門主任研究員の歌川学さんを講師にお招きし、我々を取り巻くエネルギー問題とこれからのエネルギーの選択について話題提供をいただき、30歳代から70歳代の20名の方々（男性15名、女性5名）が参加されました。

前半は講義形式で、エネルギー問題の全体像についてお聞きし、後半はグループディスカッション形式で、3つのグループに分かれて、具体的な省エネルギーへの身近な取り組みについて議論を行いました。

まず前半の講義では、震災・原発事故以降、我々が必要とするエネルギーの総点検・見直しが必要になっていることが、様々な統計データに基づいて示されました。

▶日本はエネルギーの9割以上を化石燃料と原子力といった環境負荷・リスクの大きなエネルギーに依存し、そのうち有効に使われているエネルギーは約3分の1で、残りの約3分の2は熱として捨てられている。例えば発電所では、燃料のエネルギーのうち電気になるのは40%に過ぎず、残りの60%は廃熱として無駄になっている。▶裏返せば、発電所や工場、運輸、オフィスの効率化やライフスタイルの見直しによって、化石燃料や原子力への依存度を大きく低下させることができる。また日本の電力需要を支える自然エネルギー電力として、バイオマス、小規模水力、太陽光、風力など多くの有望な選択肢があり、これらの自然エネルギーを普及させるための社会的な仕組みを整備することが必要であることが様々な具体的な例を引いて示されました。

また後半のグループディスカッションでは、「自然エネルギーへの取り組み」、「家庭でできる省エネの取り組み」、「交通機関における省エネの取り組み」の3つのグループに分かれ、それぞれのテーマについて、個人でできること、地域で取り組むべきこと、国や自治体単位で取り組むべきことを挙げながら、参加者同士が活発に議論を行い、それぞれのグループの議論の内容について発表を行いました。

最後に、エネルギー種別にも省エネ方法にも、いろいろな選択肢があり、原子力を減らしても化石燃料を増やさず、再生可能なエネルギーを増やして、温暖化対策などの課題、震災復興、地域の雇用拡大などの諸課題と共通に取り組める選択肢がいくつもあり、それを選ぶのは我々自身であることをまとめとしてサイエンスカフェを終了しました。

次回、サイエンスカフェは2月頃開催予定です。皆さん、ご参加ください。